



第6の大量絶滅が迫るなか、
多様な生き物を社会で守る
仕組みを作ろう！



参加登録
先着300名迄
(対面開催)



3/26 Wed.
13:30-17:40

東京大学農学部
弥生キャンパス
弥生講堂一条ホール

新入生歓迎！

Symposium on Nature Positive: A Japanese approach

東京大学農学部 150周年記念 関連シンポジウム

日本型ネイチャーポジティブとは？

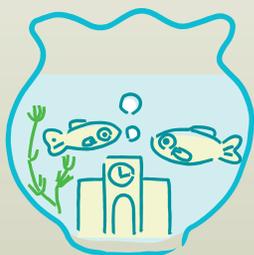


第1部

第2部

第3部

東京大学の学生や
若手のスタートアッ
プによる活動報告



ビジネスとの
結節点・ファイ
ナンスの役割



地域振興とネイチャーポジティブ、
自然環境とその変遷から考える
日本型ネイチャーポジティブ、
産学官ネイチャーポジティブ・
ネットワークの立ち上げ



主催：東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部

協力：東京大学GX学生ネットワーク(GXSN)、アースウォッチ・ジャパン 後援：埼玉県入間郡三芳町、岩手県陸前高田市



日本型ネイチャーポジティブとは?



3/26 Wed.
13:30-17:40

東京大学農学部
弥生キャンパス
弥生講堂一条ホール

gist

自然と共生する社会を目指すために、**自然環境や生物多様性の損失**を止め、流れを反転させる手法について、議論が国際社会で活発化しています。これに向けては**社会の根本的な変革 (transformative change)**が必要となっているとの声もあります。

私たちは、そのような中でも、もう一度、現場での人々の取り組みに立ち返り、対応を議論することが重要だと考えています。**自然と共生する活動の価値**をどう創造することができるのか、**ビジネスと消費者の間を繋ぐ方策**や、**サステナブルファイナンスの実現化**に向けた新しいアイデアが必要となっています。これらの課題について、**東京大学の学生や教員、スタートアップ企業、生産現場の関係者などを交えて対話**を行い、新しい気づきを得ることが、このシンポジウムのねらいです。

東京大学農学部では、**生き物の力で社会を変え、そして多様な生き物を社会で守る仕組み**、私たちはこの仕組みをどう構築するかを考えています。皆さんも、私たちと一緒に考えてみませんか？

access



総合司会: 小谷あゆみ (農ジャーナリスト)

13:30-13:40

開会挨拶: 津田 敦 (東京大学理事)

1ST SESSION

東京大学の学生や若手のスタートアップによる活動報告

13:40-14:50

モデレーター

山口 空 (東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員)

パネリスト

水野那奈子 (東京大学GX学生ネットワーク (GXSN): 東京大学工学部3年)

松本 望美 (狩人の会: 東京大学農学部4年)

松本 百永 (あぐりえこん。: 東京大学農学部4年)

石橋 宙郎 (飯館村ホッププロジェクト: 東京大学農学部4年)

橋口 功大 (生物学研究会: 東京大学教養学部文科一類2年)

中野 和真 (環境三四郎: 東京大学農学部4年)

14:50-15:00

BREAK

2ND SESSION

ビジネスとの結節点・ファイナンスの役割

15:00-16:10

モデレーター

八木 信行 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

パネリスト

宇野 宏泰 (株式会社ZEN-BU・自然農法無の会)

中村 哲也 (ニューグリーン)

藤原啓一郎 (LA-Lab) (長野県上田市)

竹内 四季 (イノカ Innoqua)

イヴォーン ユー (EY新日本有限責任監査法人)

諸岡 孟 (一般社団法人 WE AT)

16:10-16:20

BREAK

3RD SESSION

地域振興とネイチャーポジティブ、自然環境とその変遷から考える日本型ネイチャーポジティブ、産学官ネイチャーポジティブ・ネットワークの立ち上げ

16:20-17:35

モデレーター

八木 信行 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

パネリスト

宮下 直 (生物多様性の伝道師: 東京大学大学院農学生命科学研究科)

伊藤 雪穂 (アースウォッチジャパン)

林 伊佐雄 (埼玉県三芳町長)

高橋 和良 (バンザイ・ファクトリー) (岩手県大船渡市)

江澤孝太郎 (マモノチョコレート) (東京都港区)

澤登 早苗 (フルーツグローア-澤登) (山梨県峡東地域)

有田 一貴 (小田急電鉄/ハンターバンク)

17:35-17:40

開会挨拶: 中嶋 康博 (農学生命科学研究科研究科長)